



道徳だより



本校では今年度「希望と勇気、努力と強い意志」を中心に道徳教育を推進していきます。学校の教育活動の全てを通して行われるのが道徳教育です。毎週1時間行われる「道徳の時間」では子どもたちが日々の生活の中で体験したことを自分とのかかわりの中で深めていきます。この道徳便りでは、道徳の時間などの子どもたちの様子をお伝えしていきます。

ご家庭でも保護者の方々と子どもたちが一緒に考えたり話し合ったりして、子どもたちの豊かな心の成長に役立てていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

道徳の時間の様子 3年生「がんばれ友ちゃん」決めたことをやりぬく

自分で決めたことをやり抜くことで「やればできる」という喜びや自信を得られることに気づき、目標に向かって粘り強く取り組む態度を育てることをねらいとして学習しました。

教材の主人公は「逆上がりができるようになりたい」という気持ちを持ちつつも、うまくいかに諦めかけていました。励ましを力にして練習を続けた結果、逆上がりができるようになりました。

授業では、主人公がどんな思いで練習を続けたのかをみんなで考えました。はじめは「諦めずにがんばり続けることが大切」だと思っていた子どもたちでしたが、話し合う中で、それだけでなく「諦めずに頑張れば、できたときにうれしい気持ちになること」や「諦めそうになったときに、自分の目標を思い出して、気持ちを強く持つこと」も大切だと気づきました。

これからも、自分で決めたことをやり抜こうとする子どもたちの姿を温かく見守り、応援していきたいと思います。



子どもたちのノートや発言より

- ・やめたいと思っても、できた時の未来の自分を思いながらがんばりたいです。
- ・「自分是可以る」という自信をもって苦手なこともがんばりたいです。
- ・諦めたら今までの努力が全部むだになってしまうので、諦めずに努力することは大切だと思います。
- ・自分が決めたことは、いやになってもチャレンジし続けることが大事だと思います。
- ・諦めてしまうと、いつまでもたってもできないままで「諦めなかったらできたかもしれない」と後悔すると思います。だから、できるようになるまで諦めないことが大切だと思います。